

様式A-74

ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ

【追加募集】

研究機関名	中央大学				
プログラム名	君も考古学の最新研究に挑戦！縄文土器を研究する・年代を測る 追加分				
先生（代表者）	こばやし けんいち 小林 謙一 ・中央大学文学部・教授				
自己紹介	わたしは、日本の先史時代、特に縄文時代を中心に、当時の人達の暮らしを、発掘調査や出土した土器などの分析を通して研究しています。年代測定など、最新の自然科学分析を応用して研究していきます。				
開催日時・募集対象	2020年8月29日(土) (2回目 10月10日(土))	受講対象者	中学生	募集人数	10名
集合場所・時間	多摩モノレール中央大学明星大学駅改札	(集合時間)	9:00		
開催会場	中央大学多摩キャンパス4号館 4354 室(考古整理室) 住所: 〒192-0393 八王子市東中野 742-1 中央大学多摩キャンパス アクセスマップ URL: https://www.chuo-u.ac.jp/access/tama/				
内 容					
すでに発掘し、本研究室にて研究をおこなっている土器の整理作業の一端について順を追って体験してもらいます。本プログラムは同一の参加者を対象に計2回のプログラムを実施します。第1回(8月)に土器の洗浄を行い、その上で基礎的な知識を伝え、参加者に、どんな土器が、どのように使われたのか考えてもらいます。また、洗浄用とは別の土器であるが同じ遺跡などで出土した土器片から年代測定用に付着炭化物試料(ススやお焦げ)を採取してもらいます。第2回(10月)に、接合、拓本作業を行ったうえで、参加者から土器からわかることについて意見を出してもらい、縄文時代について考えてもらうことで、考古学を実感してほしいと考えています。採取したお焦げを使った年代測定は、測定自体は科研共同研究機関でおこなっておきますが、その測定結果から実年代を算出する過程について、実際に皆さんにパソコンへデータ入力してもらってプログラムで計算してもらい、何年前のモノなのか、それはどういう時代か考えてもらいます。発掘した縄文土器に直接触れてもらい、数千年前の人達の息づかいを感じつつ、AMS法14C年代測定など最新科学研究にも触れてもらいたいと思います。					



遺物選別・洗浄風景（発掘現場作業時）

持 ち 物	特 記 事 項
・筆記用具（鉛筆・消しゴム・メモ用紙） ・動きやすく、泥汚れ程度の汚れてもよい服装	8 月 29 日・10 月 10 日の 2 回プログラムに参加していただきます。 持参した服に着替えを希望する場合は考古学整理室の書庫で着替えることができますので、申し出てください。 新型コロナウイルス感染防止のため、マスクを着用してください。手指の消毒液は研究室で用意します。
スケジュール	
2 回とも受付時間：9:00 多摩モノレール中央大学明星大学駅改札に集合し、中央大学考古学整理室で受付。終了時間 12:00 2020 年 8 月 29 日（土）第 1 回「縄文土器の洗浄と年代を調べる下準備」（所要時間 3 時間） 9：00-9：30 受付（集合場所：中央大学多摩キャンパス 4 号館 4354 室（考古整理室）） 9：30-10：00 開講式（アイスブレイク、科研費の説明） 10：00-11：00 出土した土器からわかること、土器破片の洗浄、土器付着物のサンプリング（各 20 分） （休憩） 11：10-12：00 テキストの説明、課題の確認、質問コーナー（縄文土器/縄文時代について） 2020 年 10 月 10 日（土）第 2 回「縄文土器が作られた年代を調べる」（所要時間 3 時間） 9：00-9：30 受付（集合場所：中央大学多摩キャンパス 4 号館 4354 室（考古整理室）） 9：30-10：00 前回の振り返り（アイスブレイク、作業の説明） 10：00-11：00 土器の接合・拓本の作業（各 20 分ほど） （休憩） 11：10-11：50 年代測定の説明、測定結果の実年代計算、考察・テキストの説明・課題の確認・質問 11：50-12：00 修了式・アンケート記入	